

# 中期経営3ヵ年計画への取り組み(2008年度~2010年度)

2009年5月19日

### 2 日本ゼオン株式会社

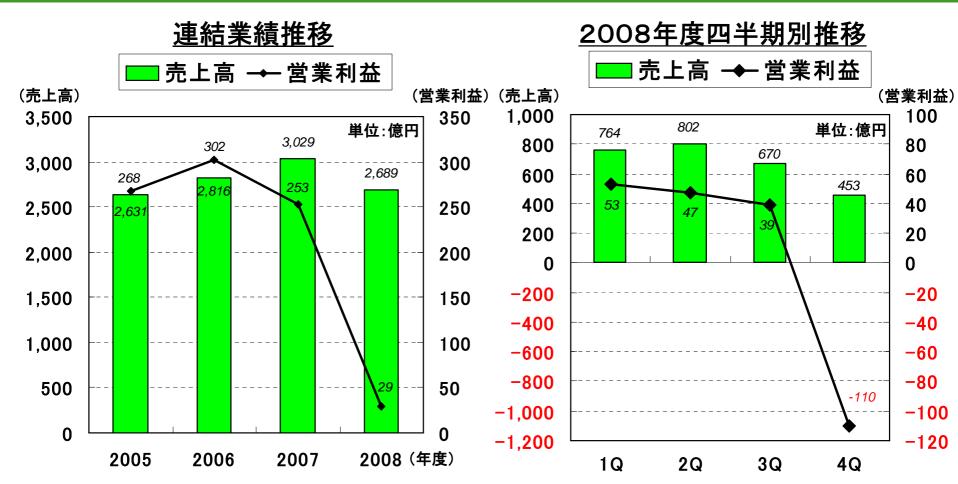
代表取締役社長 古河 直純

### 目次

- ・2008年度連結業績
- ・中期経営3ヵ年計画 250 見直しの 考え方
- · 12-60 今後の取り組み



### 2008年度連結業績



・第4四半期は減産により稼働率低下





### 中期経営3カ年計画 1260 見直しの考え方



国際金融危機に端を発する世界的経済危機によって、IZ-60策定時点と比べて環境激変



- ・IZ-60の基本コンセプトは変えず、 環境変化に合わせて業績目標を見直すとともに、 残る2年間に最優先で取り組むべき事項を明確にする
- •環境激変に対応するための事業構造改革と、 次世代成長事業の効率的な準備を進める次期3ヵ年計画 に向けた助走期間とする

2011年度からの次期中期経営3ヵ年計画期間中に

- •ROE15%以上
- •D/Eレシオ1. 0未満

を達成できる企業体質を2年間で確立する



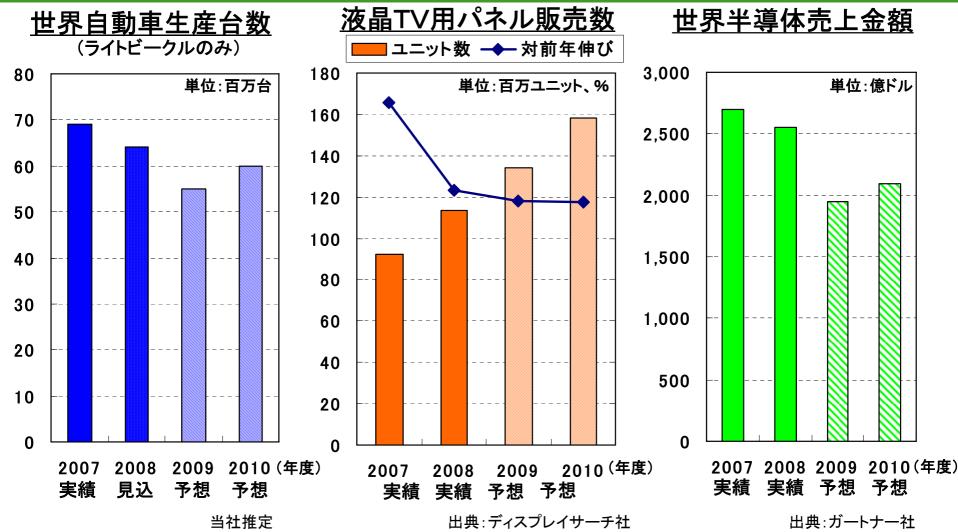


## **1**子50 今後の取り組み

- 12-60 見直しの背景
- •連結業績修正目標
- 2009~2010年度重点課題
  - 市場動向
  - 重点課題 1 ~ 3



### **♦ 12-60** 見直しの背景



### 市場拡大を前提とした成長戦略を見直す







### 連結業績修正目標

(億円)	2008年度 実績	2009年度 予想	2010年度 修正目標	2010年度 当初計画	2010年度 差異
売上高	2,689	2,130	2,200	4,000	<b>▲</b> 1,800
営業利益	29	40	100	350	<b>▲250</b>
営業利益率(%)	1.1	1.9	4.5	8.8	<b>▲</b> 4.3
経常利益	38	20	100	350	<b>▲250</b>
経常利益率(%)	1.4	0.9	4.5	8.8	<b>▲</b> 4.3

#### (前提)

	2009~2010年度	当初
為替	90円/USD 117円/EUR	100円/USD 160円/EUR
ナフサ	27,000円/kl	70,000円/kl





#### 2009~2010年度重点課題

- 1.70%稼動でも利益を確保できる事業体質の実現
- 2. キャッシュフローを重視し有利子負債を削減
- 3. 研究開発から生産技術確立までの質とスピードの向上



### 重点課題1

70%稼動でも

利益を確保できる事業体質の実現



#### 市場動向

- ●タイヤ市場(汎用ゴム)
  - ・'09年4-6月は5~7割程度の稼働率になる模様。
- 自動車(部品)市場(特殊ゴム)
  - '09年4-6月は対前年5~7割程度の出荷数量になる模様。
- ●液晶パネル市場(高機能樹脂)
  - ・在庫調整は'09年1-3月までにほぼ終了し、現在は'08年1-3月並みに回復。
  - 価格下落にも歯止めがかかっている。
- ●携帯電話(レンズ)市場(高機能樹脂)
  - ・レンズの在庫調整は'09年1-3月までににほぼ終了し、市場は底を打った模様。
  - ・ただし、実需も振るわず6割程度の稼動の見込み。
- ●半導体市場(高機能ケミカル)
  - •'09年1-3月は在庫調整の影響で前年度比3割減。
  - •'09年4-6月に底を打つ可能性あり。



### ①コストダウンへの取り組み

### 【目標】 累積削減効果目標額260億円

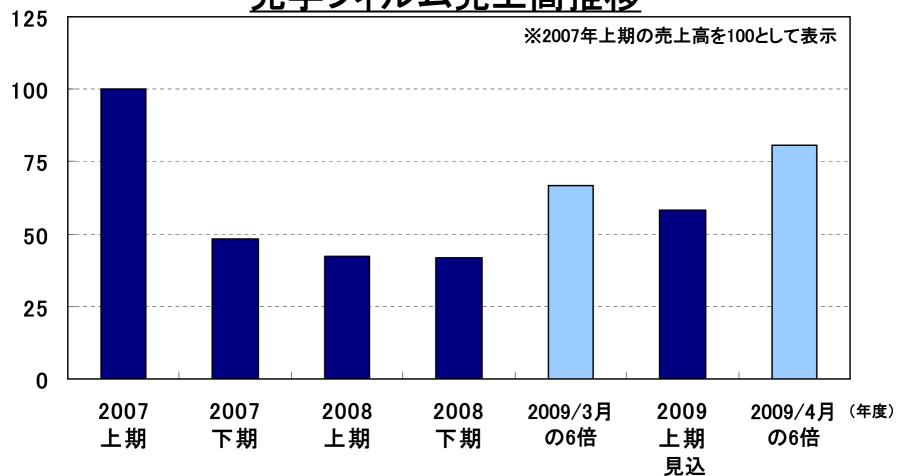
(2009~2010年度の2年間)

	主な方策
固定費	100億円/年の削減(2008年度比較)  ・人員圧縮 ・製造要員の工場間応援 ・不急な設備管理費用の先送り (安全、品質、コストダウンに関するものは実施) ・経費削減 ・外部への生産委託の取り込み
変動費	<ul><li>2年間累積60億円以上の削減</li><li>・Z∑活動の推進</li><li>※2008年度は43億円の削減実績</li></ul>



### 光学フィルムの状況

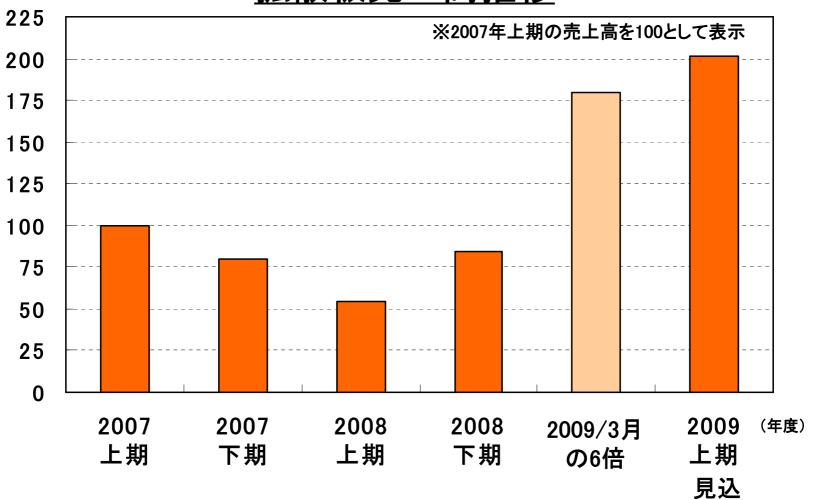
### 光学フィルム売上高推移





### 拡散板の状況

### 拡散板売上高推移





### セグメント別業績

セグメント	項目		2008年度 実績	2009年度 予想	2010年度 修正目標	(参考) 2007年度
エラストマー 素材事業	売上高	(億円)	1,800	1,300	1,310	1,957
	営業利益	(億円)	76	50	75	166
	営業利益率	(%)	4.2	3.8	5.7	8.5
高機能材料事業	売上高	(億円)	376	430	490	472
	営業利益	(億円)	-48	-10	25	76
	営業利益率	(%)	-12.7	-2.3	5.1	16.1
その他の事業 (連結消去含む)	売上高	(億円)	513	400	400	600
	営業利益	(億円)	1	0	0	11
合 計	売上高	(億円)	2,689	2,130	2,200	3,029
	営業利益	(億円)	29	40	100	253
	営業利益率	(%)	1.1	1.9	4.5	8.3



#### 重点課題2

### <u>キャッシュフローを重視し</u>

### 有利子負債を削減





### キャッシュフロー改善策

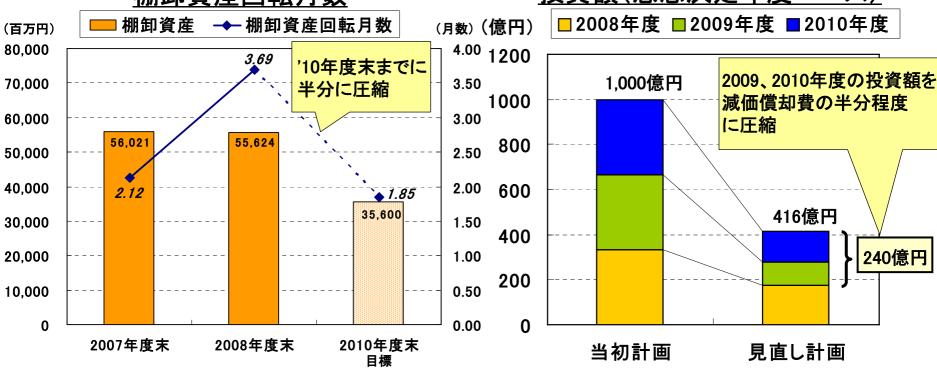
### 1

### 棚卸資産の圧縮

### ② 投資の厳選

#### 棚卸資産回転月数



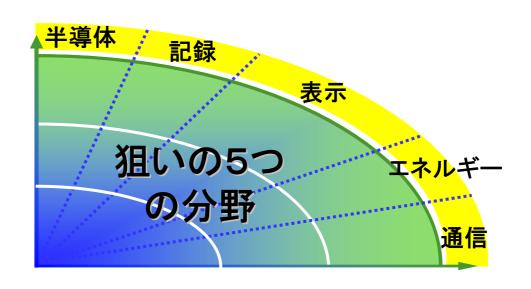


(注)分母=直前3ヵ月の平均月間売上高で算出



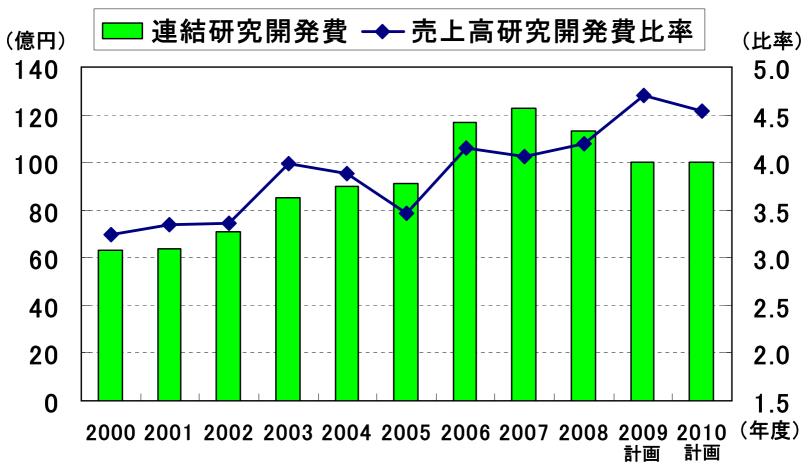
## 研究開発から生産技術確立までの

### "質"と"スピード"の向上





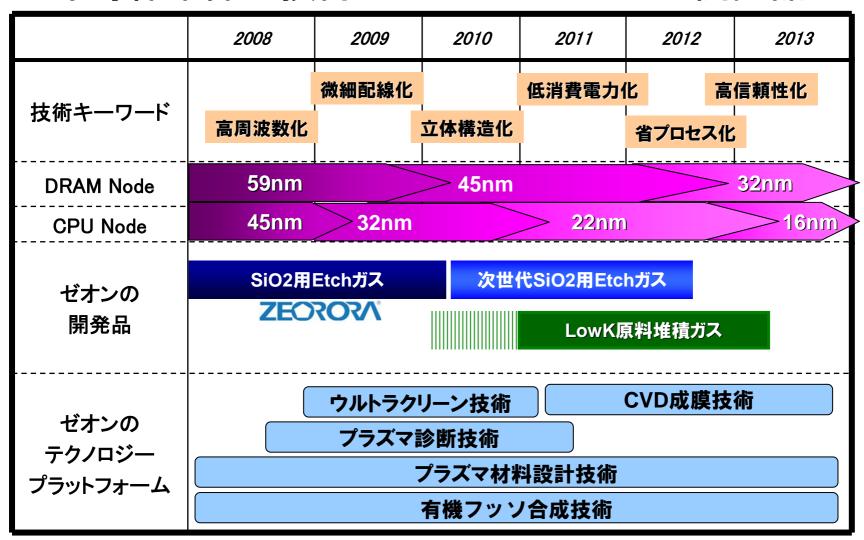
### 連結研究開発費推移





### 『半導体』分野

### 半導体業界の技術キーワードとゼオンの開発品



DRAM, CPU Node: ITRS 2008





### ③『記録』分野

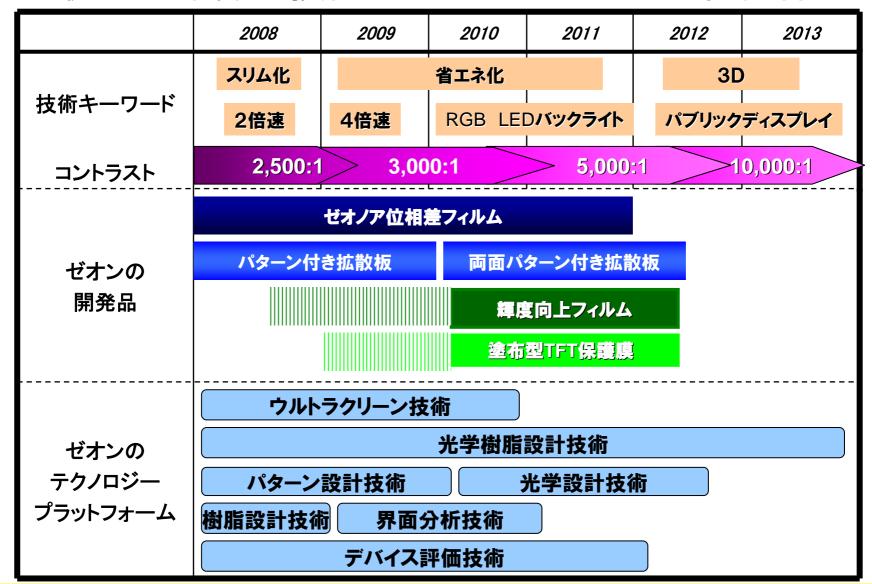
### ブルーレーザー周辺技術キーワードとゼオンの開発品

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	
技術キーワード	4倍速	6倍速	8倍速	12 <b>倍速</b>			
	無機1層 2層						
	有機1層	<b>]</b>	有機2層				
ゼオンの 開発品	耐ブルーレーザー用レンズ材料  低複屈折ハイパワーブルーレーザー用レンズ材料  ZEONEX  次世代高耐久ブルーレーザー用材料						
ゼオンの	分子設計技術						
テクノロジー	コンパウンド設計・分散技術						
プラットフォーム							



### ④ 『表示』分野

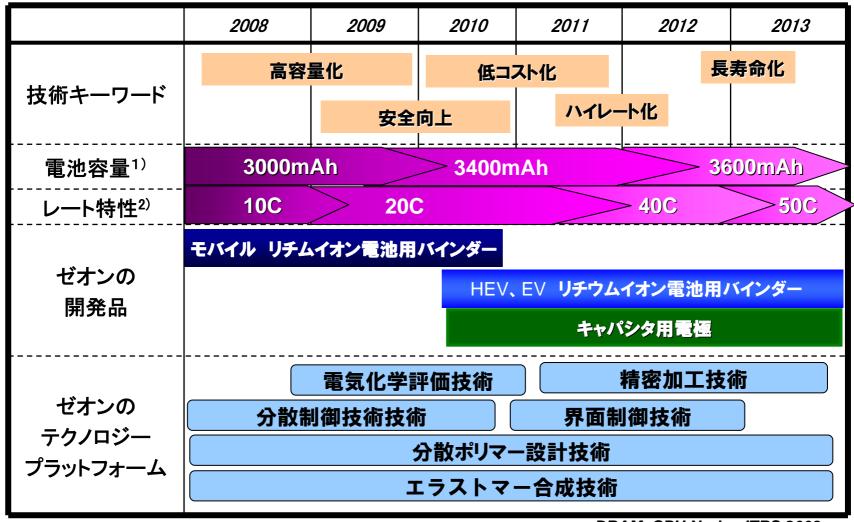
### 液晶TV業界の技術キーワードとゼオンの開発品





### ⑤『エネルギー』分野

### エネルギー産業界の技術キーワードとゼオンの開発品



DRAM. CPU Node: ITRS 2008

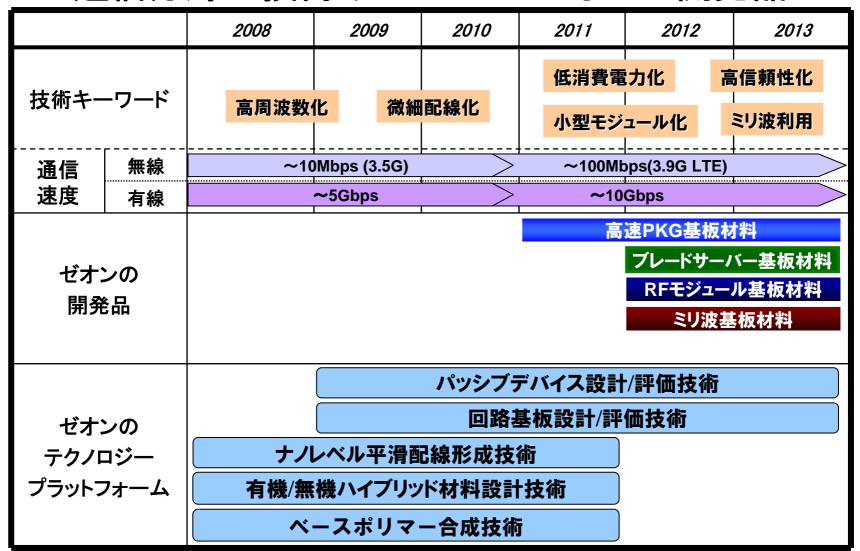
1)円筒18650換算 2)C=1時間でフル充電、放電可能な回数



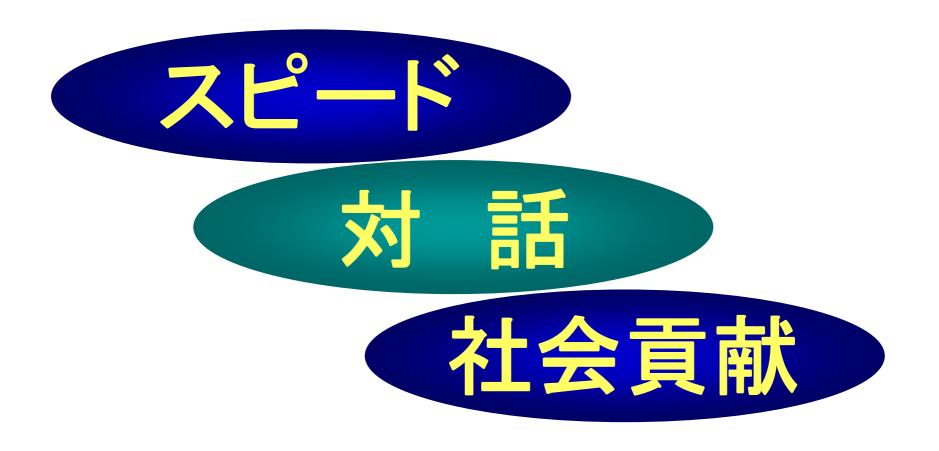


### ⑥ 『通信』分野

### 通信分野の技術キーワードとゼオンの開発品







### 以上

本資料に掲載されている当社の計画、見通しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。 実際の業績は様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

> 日本ゼオン株式会社 広報室 東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル Tel:03-3216-2747, Fax:03-3216-0501